

2023 年度 NEXUS 活動報告案

2023 年度は新たに 4 名の学生が加わり、1 年生 1 名、2 年生 2 名、3 年生 4 名の計 7 名で活動しました。今年度は高槻市在住の外国人の方 3 名と支援者の方 2 名にインタビューをさせていただき、医療や生活に関する困りごとを調査しました。

外国人の方の困りごととして「言語の壁」「情報の受け取りにくさ」「日本と自国とのギャップ」「安心できるコミュニティの不足」、支援者の方の困りごととして「支援することのハードルの高さ」「支援者へのサポート不足」「支援者育成困難」の要素が明らかになりました。インタビュー調査の成果は、本学第 7 回看護研究会にてポスター展示を行い、終了後に参加学生へ Certificate を授与しました。

2024 年度は大学病院における外国人患者への支援体制や看護ケアに関する調査を計画しています。

NEXUS の特徴

- 学生が主体性を持って活動できる環境
- 個々の関心事を持ち寄り、実現に向けたアクションプランを検討
- 学年にとらわれず 1 人ひとりの意見を取り入れるミーティングの実施
- 自身の経験を活かして他者の支援に繋がられる活動内容
- 支援を必要とする多様な人々の声を聴き、発信していく取り組み



支援者の困りごとの関連図

